中級者のためのTOEIC対策講座 II

科目ナンバリング　ENG-106
選択　　2単位

中村　浩一郎

1. 授業の概要（ねらい）

TOEICを立ち上げたのはある日本の方です。TOEFLを運営するアメリカのテスト屋さんETSと交渉して実現させたそうです。彼は「TOEICは試験対策をして受けるものではありません。」と仰ったそうですが、入社・昇進・海外派遣等でそれが足切りに「活用」されたりするなら、対策を考えざるを得ません。
試験に毎回変わらぬ形式が存在すれば、対策を講ずることが可能となります。人はそれを受験テクニックと言いますが、それは当然の誠実な努力であって何ら邪なことはありません。
この科目は高等学校等で普通以上の英語の成績をとっていた学生さん方に、TOEICの受験テクニックのごく一部をお伝えしようとするものです。英語そのものについて説くこともそこそこありますが、普通の意味での英語の授業ではありません。
折りに触れ「高所大所からの」コメントを挟むよう努めます。また、「本格の学習こそが結局は近道なのだ。」ということを説きたいと思います。

2. 授業の到達目標

「TOEIC Listening & Readingの受験テクニックのごく一部を習得する。」

3. 成績評価の方法および基準

対面時各回2点を平常点として与え得る。
評価基準:　始鈴時に教室に処り、授業に貢献しつつ最後まで処ること。授業の妨害をするなど論外。
あとは試験。試験について最終的なことは教室で何度も学生方のお顔を拝させて頂いてからでないと申しあげられません。今申しあげられるのは、私達の定期試験で実際の受験さながら初物の問題を解かせるのは残念乍ら無理、ということです。もしそうすれば、殆どどなたにもまともな点は取って頂けませんので(経験済みです)。この点はご了承ください。
成績について照会したい者は直後のセメスタに教員の所に来ること。

4. 教科書・参考文献

教科書
無し(資料配布) [予定]

5. 準備学修の内容

この授業では導入の後、多くの回実際にCDをかけて「公式問題」を解いて頂く予定です。予習はせず、復習を一所懸命すること。具体的なことは、皆さんもう大学生でありますので、授業にご出席の上各々の学力・状況に応じてお取り組みください。

6. その他履修上の注意事項

*毎年学生さんの資質も客観的状況も異なるものです。当然乍ら下記授業計画は変更され得ます。
初手から申しております通り、高等学校等で普通以上の英語の成績をとっていたことが受講の前提です。然もないとこの科目を受講する意味はあまりありません。広範な基礎力があって初めてテクニックを用いうるわけです。本学ではかなりの学生さんが基本的な動詞の過去形・過去分詞形すらそれほど習得しておりませんが、そのような事から手取り足取り指導する時間は無いように思います。
基本的なマナのなっておらぬ者は来ないでくださいね。どうか、真面目に勉強する方々の妨害はしないでください。
対面授業の際は毎回定時に教室に処ること。上に述べましたように導入の後は多くの回実際にCDをかけて問題を解いて頂く予定ですので、既に処る人をディストラクトする遅刻は一段と迷惑です。
便所は始業前に済ませ、時間中は行かないこと。昨年度は時間中に便所に立つ人が続出しました。これでは学生さんと教員の注意は逸らされてしまいます。勿論、授業中でも「漏れそう、、、。」という場合は仕方ありません。

本授業は履修者制限を行わせて頂きます。万一受講者の多い場合は抽選を行います。
また担当者の身体の調子の悪い為(一昨年度前期のオンライン授業で身体を壊してしまいました)、対面授業を行いつつ特別な事情のある学生方の為にオンライン授業をも行う余裕はありません。選択授業でありますので、基本的に対面で参加できる方にとって頂きたく、宜しくお願い申しあげます。

7. 授業内容

【第1回】　導入
【第2回】　PART 3　設問あるある
【第3回】　PART 4　設問あるある
【第4回】　PART 2　導入
【第5回】　Questions 7 through 10
【第6回】　Questions 11 through 15
【第7回】　小纏め
【第8回】　PART 2　引っ掛けあるある
【第9回】　Questions 16 through 20
【第10回】　Questions 21 through 25
【第11回】　(オンライン授業予定)
Common Distracter Types
【第12回】　Tongue Twister Time!
【第13回】　Questions 26 through 30
【第14回】　Questions 31　小纏め
【第15回】　纏め